

萩ジオパーク推協だより

2017年7月31日 No. 28

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510
TEL : 0838-21-7765 FAX : 0838-25-7767
e-mail : hg-geo@city.hagi.lg.jp
HP : <http://www.city.hagi.lg.jp/site/hg-geo/>

発行：萩ジオパーク構想推進協議会
事務局：萩市ジオパーク推進課
Facebook: <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>

〔報告〕 臨時総会が開催されました 7/6 (木)

去る7月6日(木)、午前11時から萩・明倫学舎展示映像室において、萩ジオパーク構想推進協議会の臨時総会を開催しました。会議では、規約改正及び平成29年度予算の組み替えの2件の議題について審議が行われ、それぞれ原案のとおり承認されました。

規約改正では、推進協議会の目的として、「ジオパーク活動を推進することで、地域が活性化し、潤う仕組みをつくり、もって持続可能な発展を目指す」ことを謳うとともに、調査・研究部会の名称を、ジオパーク活動の柱の一つである「保全」活動を行うことを明確にするため、「保全部会」に名称変更をしました。また、これまでオブザーバーとしての参加をいただいた阿武町・山口市と、山口市阿東地域のジオパーク活動団体である「NPO あとう」を協議会委員に加え、共に活動いただくようにしました。予算の組み替えでは、ジオパーク活動により地域が潤う



〔NPO あとう主催：長門峡ジオウォーク〕

仕組みを市民の皆様とともに作り上げていく契機となるよう、既存予算の一部を減額し、イベント、学習会等を開催する費用に充てました。ジオパーク活動に取り組む目的や必要性、方向性を明確にし、改めて皆様とともにジオパーク活動を作り上げるとともに、平成30年度の日本ジオパーク認定を目指してまいります。(事務局長 福島康行)

山口市 この度の臨時総会において、山口市も萩ジオパーク構想推進協議会の協議会委員として参画させていただくこととなりました。山口市の阿東地域にも、長門峡をはじめ阿武川流域全体においてジオパークの素材が多数あります。長門峡では、NPO あとう（あとう観光協会）を中心に、萩市川上地域と共同で、地域会議やガイド付きウォークなどを行っており、秋の紅葉のシーズンはもとより年間を通じての長門峡の魅力を創出し、より多くの観光客を呼び込める仕掛け作りに取り組んでおりまして、ジオパーク構想を契機に更に磨き上げることで、本市の魅力が益々高まるものと期待しています。今後とも、萩市、阿武町との連携を深めていき、関係の地域団体の皆様方との連携・協力体制のもと、ジオパークの取組みを地域の活性化につなげていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

阿武町 このほど、萩ジオパーク構想推進協議会に正式に会員として加わらせて頂きました。阿武町には、ジオパーク関連の資源に成り得る資源として、阿武火山群の中心の山として『伊良尾山』が存在しています。太古の伊良尾山ほか阿武火山群の噴火により、萩市須佐、田万川、むつみ、福栄に広がる地形を形作っており、これを活かすにあたっては、萩市との連携は欠かせないと考えています。町内にはこの他、火山に囲まれた埋もれ木の郷の宇生賀盆地、日本海に浮かぶ宇田島も火山活動による産物として稀少な島であり、また鳴き砂の清ヶ浜もあります。これらは、ともに進めることになるジオパーク構想により、さらに活用の展開が期待される資源です。これらを活かすことで、新たな視点からまた、さらなる様々な交流が生まれることを期し、当推進協議会の新たな目的として位置づけられた「地域が活性化し、潤う仕組み作り」に向けて、阿武町として積極的に参画したいと考えています。

(あとう観光協会) 新たに協議会委員を務めさせていただきます、NPO あとう (あとう観光協会) の椎木と申します。萩ジオパーク構想を推進する上で、特に長門峡とジオとの関係について、これから山口市阿東地区で掘り下げて参りたいと考えています。先だって「長門峡ジオウォーク」というツアーを行うための現地調査を協議会事務局と行った折に、今までとは違った切り口で多くのことを学びました。私たちが慣れ親しんでいる長門峡に素晴らしい魅力があることを改めて知る機会を与えていただきました。この感動をより多くの地域住民、来訪される観光客の方々と共有することに活動の重点を置き邁進していく所存です。また、他のジオサイトとも協力しながら萩ジオパーク構想が大きな枠組みで進展いたしますよう、微力ではありますがお力添えいたしたく存じます。今後ともご指導よろしくお願い致します。

「突撃!レポート」 萩ケーブル番組 萩ジオさんぽ 制作に参加して

萩ケーブルネットワークの「萩ジオさんぽ～下を向いて歩こう～」は、ご覧になりましたでしょうか。制作した萩ケーブルのスタッフと初回の撮影にご参加いただいた萩高校の生徒さんたちに感想をいただきましたのでご紹介します。今後も楽しい番組をつくっていきますので、ご注目ください。



[番組ロケ風景]

● 萩ケーブルネットワーク株式会社 原田明祐さん

私は、萩市に住み始めて、まだ、およそ半年で、毎日が新しい発見です。住み慣れた土地から離れてみると、自分がこれまで暮らしていた土地について知らないことが多かったな、と感じます。皆さんも、もしかしたら住み慣れた萩の土地について知らないことがあるかもしれません。地域の人たちと一緒に萩の土地の魅力をしっかりと学び、皆さんに「そうなんだ!」と思っていただけるような番組をお届けします。

● 萩高校2年 谷口愛実さん

私は、今回の撮影に参加させていただき、萩はかつて「水びたしの町」だったという事実には驚きました。ロケで町中の湿地帯であった名残を巡ることで、萩をここまで発展させた先人たちの知恵を感じました。

● 萩高校1年 坂井雛乃さん

普段何気なく見ている、歴史を感じさせる萩の古い町並みも、地理的な視点から見ることで、視野が広がり、新たな発見がありました。これからも、積極的に萩の知らない部分を調べていきたいです。

● 萩高校1年 上村奈々恵さん

維新の町萩は、地質学的にも魅力のある町だと感じました。その魅力ある町を誇りに思い、萩の自然の魅力を、歴史ある維新の町とともに、広く情報発信していけたらと思います。

第8回日本ジオパーク全国大会 2017 男鹿半島・大潟大会 参加募集が始まりました!

今年の日本ジオパーク全国大会は、10月25日(水)～27日(金)の三日間、秋田県の男鹿半島・大潟ジオパークで開催されます。秋田県内のみならず、東北地方のジオパークをあげて、「あしたへ～日本のジオパーク!東北から発信!～」をテーマに、国内のジオパーク関係者や地域のみなさんへ東北地方のジオパークの魅力を知っていただき、ジオパークを核とした地域活性化と私たちの「あした」を考えることを目指した大会です。

大会公式HPアドレス <http://www.oga-ogata-geo.jp/jgn>

推進協議会として、本大会への一般参加者を募る予定です。詳しくは別途お知らせいたします。



「たたら製鉄」の学習に「砂鉄」採集と岩石観察

萩市立福栄中学校 7/18 (火)

世界遺産を構成する「たたら製鉄」について、理科学習の発展授業が、去る7月18日(火)に萩市立福栄中学校でありました。昨年に引き続いて2回目ですが、今回は製鉄に用いられた砂鉄にスポットを当てました。校区内にある真砂土(花崗岩の風化土壌)から、砂鉄(磁鉄鉱)を取り出そうというものです。当日の指導は、担任の高村靖子教諭、たたら保存会の小野興太郎会長、たたら製鉄遺跡ガイドの市瀬忠夫さん、そしてジオパーク支援員の増野和幸が行いました。授業で学習した酸化鉄の還元プロセスが、たたら製鉄そのものであること。石見や出雲で行われていた砂鉄採集の歴史などを聞き、その後、実際に真砂土から磁石を使って砂鉄採集に挑戦しました。採集できた量はわずかでしたが、砂鉄の存在が確認できました。生徒たちは興味津々に観察に取り組んでいました。「身近な真砂土の中に砂鉄があり、びっくりした」と、感想を発表していました。大地の恵みである「砂鉄・木炭・粘土・水」があつて、たたら製鉄が営まれていたのだということの理解が深まりました。大板山たたら製鉄所では、含有量が多く、品質の良い石見地方の砂鉄を、馬や船を使って運んでいました。



【磁石を手に砂鉄を採取する生徒たち】

(ジオパーク支援員 増野和幸)

ジオ・カメラ散歩



7月6日(木)に萩市立明倫小学校5年生の総合的な学習の中で披露した萩の大地のヨガポーズ。
8月27日(日)午前7時から、陶芸の村公園交流広場において、「大地を感じるヨガ」を開催。
早朝の清々しい空気の中、萩の景色を楽しみながら一緒に体を動かしてみませんか？

三角州のポーズ



指月山のポーズ



萩沖の島のポーズ

424 人がジオパークについてのスピーカーに 7/12 (水)・13 (木) 萩市役所職員研修会を開催

7月12日(水)、13日(木)の二日間、午前・午後の計4回に分けて、萩市役所職員を対象としたジオパーク研修会が開催されました。講座タイトルを『あなたの業務の中のジオパーク』とし、全部署から424名の参加がありました。ジオパークについての概説と室戸ユネスコ世界ジオパークでの活動紹介を白井専門員が、Mine 秋吉台ジオパークの事例紹介を「美祿市が考えるジオパーク」と題して Mine 秋吉台ジオパーク推進協議会の末岡竜夫事務局長が行いました。参加者の感想には、「ジオパークがまちづくりだと初めて知った」や「自分たちのまちを自分たちの手でよりよいものにしていくという活動を“見える化”できる1つの視点だと思う」、「萩は世界遺産をはじめ素材が多いがうまく活かせるのか、その方法がジオパークかどうかは疑問」などがありました。ジオパークについて、改めて考える貴重な機会になりました。(事務局員 伊藤靖子)



【研修風景】

ジオパーク・ワンポイント講座③ 認定されてもずっと審査され続ける？

ジオパークは、認定を受けても4年ごとに、“再審査、”というものがあります。これは、ジオパークの認定が地質・地形遺産などの物の価値を認めるものではなく、住民の「活動」を対象にしているからです。審査機関である日本ジオパーク委員会が、認定から4年経って活動が続いているか、何か変化はあったのか、新たな問題は出てきていないか、をみます。これは、ジオパークという称号を剥奪するためのものではなく、地域が長く活動し続けるための仕組みで、健康診断のようなものです。ジオパークは認定のための活動では決してありませんが、「的確な助言をもらえる再審査」という、萩の未来のために長く活動を続けるための仕組みがあるのです。

(ジオパーク専門員：白井孝明)

8月の予定

- 萩・海と大地のトレインツアー 8月4日(金) 9:00~17:00 会場：須佐方面 内容：萩博物館が主管となって開催する夏恒例(事前申込み制)のトレインツアー。ジオアドベンチャーコースでは、「伝説の炎の龍」を求めて、海・山・川を探検します。主催：萩・海と大地のトレインツアー実行委員会(萩博物館) 問合せ：萩博物館(電話：0838-25-6447)
- 日本一おもしろい火山体感ツアー in 笠山をみんなでつくろう 8月6日(日) ①10:00~12:00、②14:00~16:00 会場：笠山山頂展望台周辺 内容：笠山を舞台に、大地の息吹と人の知恵を体感する日本一おもしろいツアーをみんなでつくります。笠山おためしガイドツアー(60分)を体験した後、ガイドツアーを考えるカフェ(60分)を行います。各回定員20名(先着順、8/4までに申込みを)。申込み・問合せ：萩ジオパーク構想推進協議会(電話：0838-21-7765) ※月1回程度のペースで開催し、本格ツアーを目指します。
- 萩ジオカフェ 8月17日(木) 14:00~15:30 会場：萩・明倫学舎復元教室、18:30~20:00 会場：萩市中央公民館第2和室(萩市民館)、参加費：100円、申込み：萩ジオパーク構想推進協議会(電話：0838-21-7765) ※ジオパークってよくわからない人、ジオパークで何かやりたいことがある人、大集合!
- 親子ジオ菓子キッチン教室 8月23日(水) 14:00~16:00 会場：明倫学舎多目的実習室 内容：景色を切り取ってお菓子とした「お土産型体験ツール『ジオ菓子(R)』を開発したジオガシ旅行団鈴木美智子さんを招いて、親子で萩ジオパーク構想の見どころの1つ『須佐ホルンフェルス』をお菓子にします。参加費：1人200円 対象：親子10組(先着順) 主催：萩ジオパーク構想推進協議会 申込み・問合せ：萩市ジオパーク推進課(電話：0838-21-7765)
- ジオパーク講座『ジオ菓子でジオパークを楽しもう!』 8月23日(水) 18:30~20:00 会場：萩市中央公民館講義室 内容：「お土産型体験ツール『ジオ菓子(R)』の開発に至った経緯や全国展開の活動をジオガシ旅行団代表鈴木美智子さんを招いて、お話をいただくことで、ジオパークを使った楽しみ方、経済活動へのつなげ方を知ってもらう。参加費：一人500円(お土産付) 対象：一般40人(先着順) 主催：萩ジオパーク構想推進協議会 申込み・問合せ：萩市ジオパーク推進課(0838-21-7765)
- 大地を感じるヨガ 8月27日(日) 7:00~8:30 会場：陶芸の村公園交流広場(雨天時は松陰神社立志殿) 内容：前ページ参照 対象：どなたでも(先着20名) 参加費：1,000円 主催：萩のジオパークってなんじゃろう会 申込み・問合せ：萩市ジオパーク推進課(0838-21-7765) ※別会場で第2、第3回を予定